

小・中学校間での系統性を重視した連携を考える

○ 趣 旨

現行教育課程では、学習指導要領解説理科編に内容構成の図が記載されており、多くの先生方から評価する声があがっている。また、小・中学校の各段階で主として育成すべき問題解決能力については、今回小学校第6学年で「多面的な見方」が「推論」に改訂され、中学校では小学校からつながる形で「分析・解釈」が新たに示されるようになった。一方、小・中学校間では各地で連携が図られるようになり、相互に授業を見学したり、互いの児童生徒を相手に支援したりする活動が行われている。

そういった中で、小学校からは「中学校の授業に子どもの考えが反映されていない」、
「小学校で培ってきた考え方が生かされていない」など、中学校から小学校の授業に対しては「何を教えようとしているのかはっきりしない」、「仮説や考察は予想やまとめに過ぎないのではないか」といった意見を耳にすることがある。今回のシンポジウムでは、小・中学校の連携が重視されるようになった理由を基礎に、小・中学校それぞれの授業に対する考えを出し合い、どうしたら充実した連携となり、系統性がより一層担保されるかを、次期教育課程も念頭に置き、建設的に考えていきたい。

○ プログラム

日時 2015年5月16日（土）12:50～

会場 公益社団法人 日本化学会 化学会館（7階ホール）

東京都千代田区神田駿河台1-5（「御茶ノ水」駅 御茶ノ水橋口 徒歩3分）

受付開始 （12:30）

1.趣旨説明と基調講演者紹介：松原静郎（2014年度CSERS議長・桐蔭横浜大学）
12:50～13:00

2.基調講演：清原 洋一 氏（文部科学省主任視学官）
13:00～13:50

<休憩 13:50～14:00>

講演 司会 間々田和彦（筑波大学附属視覚特別支援学校）
3.講演Ⅰ：隅田 学 氏（愛媛大学） 14:00～14:30

4.講演Ⅱ：山口 晃弘 氏（品川区立八潮学園校長） 14:30～15:00

5.講演Ⅲ：伊藤 卓 氏（CSERS第5代議長） 15:00～15:30

<休憩 15:30～15:50>

6.総合討論 15:50～17:00
司会 平田昭雄（東京学芸大学）
松森靖夫（山梨大学）